

男爵 後藤新平閣下題字

國分青匡先生校閱
井上雲山先生譯註

來註
トツ解

六雄八將論

洋裝總クロース
天金箔付頗美本
定價金五十錢
郵税金四錢

六雄八將論は日本の英雄崇拜論也苟くも日本歴史を知らんと欲せば本書を讀せざる可らず



上欄に本文を掲げ之に送り字を施し且つ熟字熟語の註解を加へ下欄に假名交り譯文を掲げ之に傍訓を施し如何なる初學者にも讀解し得べし

埼玉縣師範學校教諭長島泰註解

頭註 土佐日記通解

洋裝總クロース頗美本
定價金五十錢
郵税金六錢

頭註 十六夜日記通解

洋裝總クロース頗美本
定價金五十錢
郵税金六錢

頭註 方丈記通解

洋裝總クロース頗美本
定價金三十五錢
郵税金二錢

右三書の價值は今更説くの要なし本註解者は多年教授の研究に依り細密なる頭註と懇切周到なる通解とを附し原文の奥旨を闡明にし國文の妙趣を了解せしむ國文學に志ある人々の必らず備ふべき良書也新形ホタテ入總クロースの美裝本にして携帶に最も便なり

大遜信 後藤男爵閣下題字

國分青匡先生校閱 第五版

木ヶツ選註

白樂天詩集

洋裝全一冊総クローリス三方
金箔付 頗美本
定價金六十五錢郵税金四錢

白樂天は本邦文學の大恩人也本書を讀まざれば文學を語る能はず

本書特色

- 一 假名交り總振假名文に譯して讀方を示し
- 二 熟字成語故事等を畧解し
- 三 各篇の大意を説明し
- 四 本文には符號を附し韻字平仄を區別す
- 五 印刷鮮明裝釘美麗紳士青年淑女机上及携帶の美本にして又旅行家の好同伴なり。

諸新聞批評

國民新聞

讀賣新聞

萬朝報

東京日日

大坂朝日

大坂毎日

方今漢文詩の智識漸く低下せんとする時此書の如きは好個救済の一たるを失はざるべし

井土靈山氏が白樂天の詩選に平仄韻字を附し且つ略解を加へたるものに於て初學者には頗る便なり

絶句古詩の有名なる分を拔萃し絶句は特に律格嚴格なるを選み平仄韻字を示し別に和譯和訓を添へて吟詠に便す

初學者と雖も漢詩の妙味を解するに同時に朗々高吟して以て快を求むるを得ん漢詩註釋中多く求め得べからざる良書といふべし

白詩は本邦に入りしこと古く流傳も極めて廣くして其の語句の邦文中に用ゐられたる殊に多かり此の書は全集中より古今體の尤も人口に膾炙せ

るものを拔萃して切實簡約に讀方及び解釋を下したり樂天の詩も是れたけ知らば十分に樂天通と稱せらるべし

本書は白樂天の詩中特に人口に膾炙せる者を選び上段に原詩を掲げ之に平仄押韻を附し下段其譯詩を掲げ附するに簡明通俗を旨とせる略解を附

せり收むる所の詩は長短二百餘篇白詩の一變を示せるに過ぎず其選擇註解の妥當なる優に全鼎を知らしむるに足れり裝釘は近時流行のポケット型にて譯解は總振假名附なれば初學者の同伴として恰好の美本也

文部大臣

小松原英太郎閣下題字

國分青陸先生校閱
井土靈山先生選註

東蒙求通解

洋装 全一冊 綴リクロス
三方 金箔 付 頗美本
定價 金八十五錢 郵税六錢

本書特色

一 二 三 四

本書は支那のあらゆる歴史傳記の精華を蒐めたる一幅の縮寫圖也、之を
 編むは萬卷の書を讀むに勝る。
 本書の中には名君賢相あり、勇將猛卒あり、英雄美人あり、悉く是れ精
 神教育の神髓也。漢人の必携として本書の右に出づるものなし。
 上欄に原文の漢文を掲げ之に返り点を附し
 下欄に總振假名附假名交り文に譯して讀方を示し
 上欄より下欄に直り原文中の熟語故事等の解を附したれば如
 何なる初學の尤に容易に讀解し得べし
 新形ポケット仕立印刷鮮明裝釘美麗にして紳士淑女机上及携
 帶の美本なり

東蒙批評一

諸新聞批評

やまと

蒙求の名書は我れ東蒙に求むるにあらず、蓋蒙我れに求むと云へる周易の
 語に基けるものにて支那の歴史傳記等に就き名君賢相より英雄美人に至
 るまで凡ありとあらゆる偉人哲士名媛烈婦の言行にして世の模範とな
 るべきものを網羅して刻まざる以て精神修養に資する一大叢本也、本書
 は先づ原書の漢文を掲げて之れに返り点を附し其の下には傍訓附假名交
 りに翻譯して讀方を示し尙註解の部に於て難解の故事熟語等に一一解釋を
 附したるを以て如何なる初學者にも容易に讀解し得らるべし尙本書には
 歴代帝王表官職略解地理沿革小誌等を參考として掲出せるが地理沿革は
 古昔の地名と現今の地名とを對照して支那の地理を一目の下に瞭然たらし
 むるが如き頗る有益なるものにて漢學の素養を求めんとする學生には
 缺くべからざるポケット本也

國民新聞

井止靈山處に白樂天詩集に註解を施したるが今又蒙求に訓讀を添へ和解
 を加ふ且つ袖珍本なれば漢文に志あるもの、便利なるは勿論なり帝王表
 地理沿革表官職略解を附したるは行届けり

御製 正二位伯耆守方久元閣下謹書
御歌所寄人大口鯛二先生題歌
埼玉縣師範學校教諭 有馬與藤次先生選註

新形 註和歌通解

洋裝 全一冊 總クロー
天 金箔付 頗美本
定價 四十五錢 郵税金二錢

本書 はあらゆる和歌より最も處生教訓に叶ひし物のみを選び本文に語
意畧解を附し君臣、親子、夫婦、朋友、神祇、國禮、文事、武事、奉
公、忍耐、光陰、雜事等に各分類し倫理教訓の資料たらしめ他方に於
ては和歌を學ぶ者の參考書たらしめたり宜しく子女を思ふの人道を思
ふの人は男女老幼の別なく是非本書を備へられよ

小波山人補 有馬憐花作

教訓 いろは唱歌

定價 金六錢
郵稅 金貳錢

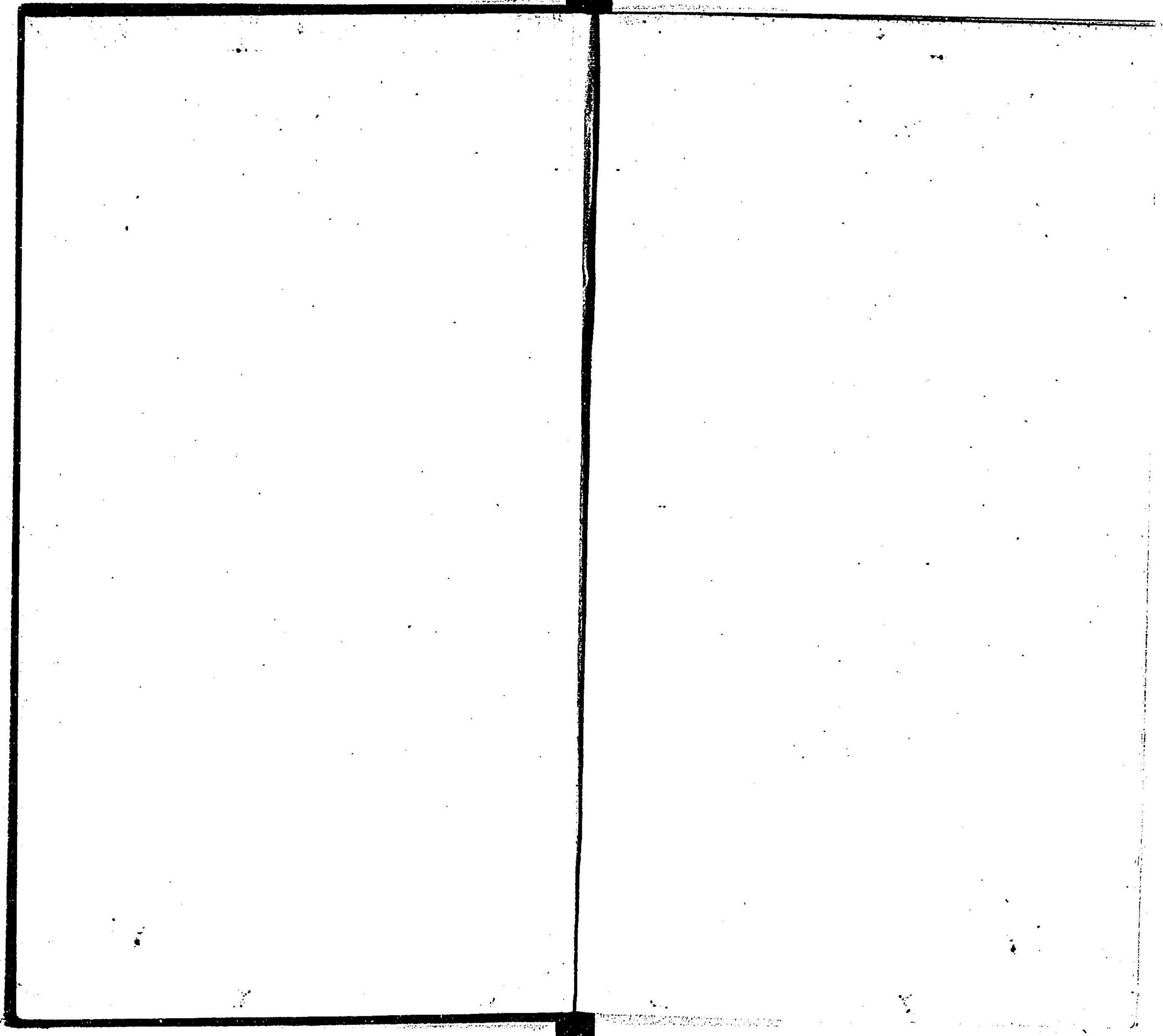
本唱歌はいろは四十七文字に就いて一句つゝ綴れるものにて、いろはを
教ゆると同時に子女の教育となるべき事柄を教ゆるものにて、俚にも三
ッ子の魂百とやら、本唱歌中に教ゆる金言は百歳の壽を保つ人と雖も亦
守るべきものあり、愛兒を有する世の家庭は何物を缺くとも此の嶄新に
して而かも家庭第一の教訓たるいろは唱歌は必らず之れを備へて朝な夕
なの教本となすの必要あり本書の初には特に歌譜を掲げ、本文は一より
四十七に至るまで番號を付し文字を大にし印刷を鮮明にして子女の吟唱
に便ならしむ、眞に是れ家庭必須の唱歌本也。

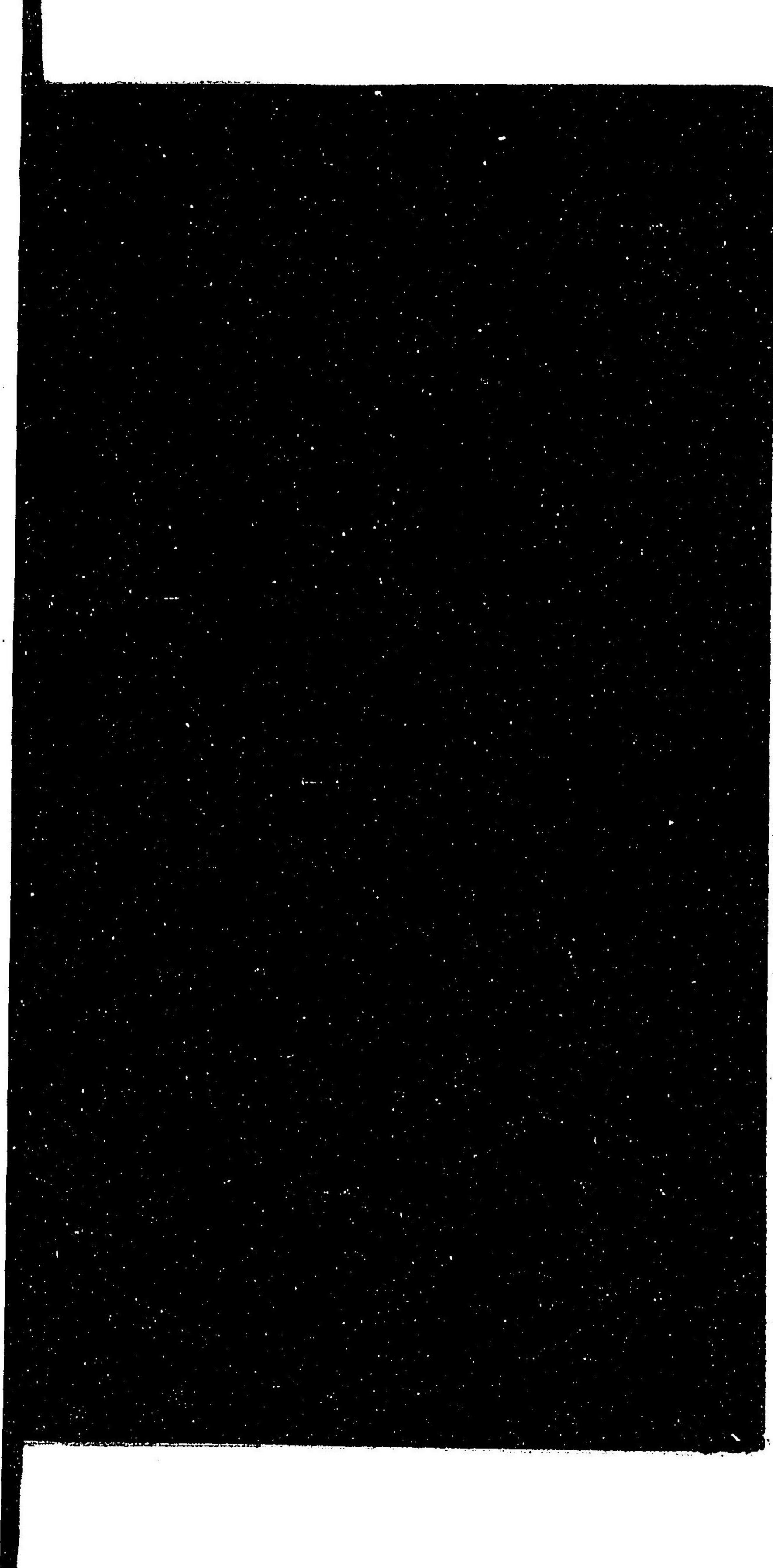
梶井三千院門跡前天台座主
第五十世 大日本會頭 一松齋素朝先生校正
第三十三世 四明會

活花千代廼松

上紙刷和裝美本全三卷
賣價金壹圓六拾錢
郵稅金拾六錢

本書は梶井宮御流華道總家元第十三世大田本四明會を頭一松齋素朝先生の世界的に發展せんとするの目的を以て校正したる和本三冊に翻刻せるものなり書中收むる所の瓶花の圖書は其數尤も多きに及び芳を聞はし秀を競ひ活華の妙技技に盡くと謂ふも不可なるべし今や活華には流派ありと雖も是れ唯其教授法に異なる所あるのみにて活華の本旨に至りては二途あるにあらず本書は尊き御流にして收むる所の瓶華圖は流派の如何を問はず初學の人々に取り何れも絶好の教本なり本書の如きは實に各派の精華を秋きたる縮圖として觀るべきものにして苟も活華に志しある人は必らず本書を座右に備へて斯道の指針となすの必要あらん





098372-000-4

921-I469S

作詩大成

井上 靈山/著

M44

DBV-0064

